



岐阜米穀(株) メールマガジン

今回のテーマは

「続くお米の環境変化について」

今回は、続くお米の環境変化についてのお話です。

みなさまもマスコミ報道で、米の値上がり、米不足など耳にされているかと思います。報道では訪日インバウンドの飲食店の需要増加が要因とも言われていますが、ありえない原因と思いませんか？

農水省は「全国的に見れば在庫はひっ迫している状況ではない」の発表は何故でしょうか。コメ不足に要因に昨年の夏の高温が影響しています。米の収量に大きく関係するのが「分けつ」です。分けつとは、水稻が主茎のかわりに脇から新たな茎を出す現象のことをいい、この新たな茎を「ほ子（ほこ）」とも呼び、このほ子が穂をつけます。水稻の分けつは、その後の収穫量や品質に大きく関わるのです。

この分けつが昨年の高温で少なかったのです。穂が少なかったため栄養が行き渡り結果的に米粒が大きくなります。つまり粒の小さい規格外が異常に少なかったのです。

例年規格外は餌米などに回りますが、餌米は補助金対象の為、年度初めに約束した数量を納めなければならないことから、主食で使われるお米が餌米に回された結果で米不足になったのです。くず米は製菓の原料から特売の低価格に使用されることが多いのです。環境変化と人的政策の誤差が重なったのですがこれからは急な変化に対応できないことでこのようなことが多くなっていくことでしょう。

流通においても米を扱い量に卸によって差が出ています。数年後に振り返ると2024年は米業界の次の体制が決まった年と言われるかもしれない変化の年なのです。

そんなタイミングの中で岐阜米穀株式会社では国内初のオートミール個包装(30g×30本入り)をスタートします。

数年でオートミールは定着してまいりましたが、お客様に豊富な使い方やオートミールの種類の多さなど中々伝えられなくて、市場の伸びが止まっている状態です。

差別化されていないオートミールを個包装にして用途開発を進めることとしました。

個包装のオートミールは使いやすくヘビーユーザーに支持されやすい商品です。

また朝の需要だけでなく、ランチやおやつなどの新たな用途を狙えると考えております。

オートミールは高タンパク、食物繊維が豊富な穀物が特徴ですからメリットが一杯です。

災害の拡大などの心配がされるなかで、個包装のオートミールは衛生的で水だけでも食べられるのが大きなメリットですから、もしもの備えにローリングストックできるのです。9月1日の防災日に向けて災害食としての個包装のオートミールが全国に並んで欲しいです。

岐阜米穀株式会社では食べるプロテイン商品のご提案を展開してまいります。

4595641702797 お得用 個包装オートミール 30g×30 本体価格 655 円 (kg 当たり 728 円)

サンプルご希望の方はメールにてお申し込み下さい。
どうぞよろしくお願い申し上げます。